



長門市しごとセンター

「ない」から「ある」を創り出す

長門市しごとセンターでは、地域の人材育成と人材定着に力を入れています。例えば『合同企業ガイダンス in 長門』などを通じて、中高生が直接会社の人の話を聞き質問する機会を設けたり、小中高生向けプログラミングを学ぶ場 CoderDojo（授業形式ではなく、自ら学ぶ形式）を通じて自らの興味を深める練習の場を作ったり、女性だけでビジネスを学ぶ「働くを応援！女性活躍研究会」など多様なイベントやスキルアップ講座を企画実施しています。

大切にしているのは「考えるきっかけづくり」「直接話せる場づくり」です。

日本各地で少子化や、インフラの老朽化が進行しており、世界でも環境破壊など「先の見えない不安」にあふれています。しかし、例えば松下村塾では、ワークショップ型の学びが、答えのない時代を積極的に切り拓く原動力となりました。長門市しごとセンターでも、変化が加速する中において、何かを知る・考える・対話する・実行する

などを通じて、切磋琢磨する機会を作り、新たな時代を担う人材育成・地域活性につなげたいと考えます。何も「ない」からこそ、生まれる工夫。「ない」から「ある」を創り出したいと思っています。

2月には、学校法人角川ドワンゴ学園と連携し、長門の中高生とドワンゴ学園の中高生とが一緒に長門の林業について学ぶ、オンライン・ワークショップを実施予定です。多くの人に参加してもらえると嬉しいです。



▲ CoderDojoNagato の様子。大学生や専門学校生もボランティアとして参加しています



長門おもちゃ美術館

木育フェスティバル開催

■日時

2月13日(日) 10:00～16:00

※3部制の入れ替え(各部80人限定)

(1部) 10:00～11:40、(2部) 12:20～14:00、

(3部) 14:20～16:00

■会場 長門おもちゃ美術館

■内容 ・木育ワークショップ(カンナかけ体験、木のティッシュケース、森の動物ペンスタンド、どんぐりキッズ、記念手形、ポンポンバスボール、mokuTRAINぬりペタの作成)

・ボードゲームコーナー(赤ちゃん広場)

■入館料 200円



▲昨年の西日本木育フェスティバルの様子

長門おもちゃ美術館 ☎ 27-0337



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

～お酒との上手な付き合い方～

コロナ禍の新しい生活様式の中で、飲み会が減るなど飲酒の機会は減っていますが、人によっては自宅での飲酒量が増えたという人もいないでしょうか。

アルコールは摂りすぎると血圧が上がり、中性脂肪が増えるので注意が必要です。1日の飲酒量は純アルコール量20g程度までに心がけましょう。また、飲酒量を減らすためには、地道な日々の積み重ねが大切です。できることから始めましょう。

■週に2日は「休肝日」をつくる

アルコール依存症の予防のためにも、週に2日は飲まない日を作りましょう。

■アルコール度の強いものは薄める

肝臓や胃腸を守るためにもウイスキーや焼酎などアルコール度数の高いものは薄めましょう。

■食べながら適量をゆっくり楽しむ

空腹状態でお酒を飲むと、血中アルコール濃度が急上昇し、短時間で酩酊状態になってしまいます。

純アルコール20gの目安(いずれか1種類)



ビール中ビン
1本

チューハイ(7%)
350ml 1本

日本酒
1合

ウイスキー
ダブル1杯

長門市保健センター ☎ 23-1133

おまわりさんのようにかっこいい大人に
向陽小学校3年
金子羽琉さん

第30回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」低学年の部で優秀賞に輝いた金子羽琉さんに話を伺いました。



▲幼稚園のときにパトカーに乗せてもらったことが今でも強く印象に残っている



▲3学期の始業式で向陽小学校の中村校長から改めて全国表彰の賞状を授与される羽琉さん

金子羽琉さんは幼稚園のときに車で10円玉を拾い、お母さんと一緒に交番に届けに行きました。交番の警察官から「ありがとう、えらいね」と言われ、パトカーに乗せてもらったエピソードを文章にして応募しました。

羽琉さんは、「拾った10円玉を届けようと思い、少し緊張したけれど勇気を出して交番に行きました。交番のおまわりさんは制服を着てピシッとしていてかっこよかったです。パトカーに乗せてもらったことがうれしかったです。パトカーは広くて、大人になったら運転してみたいです。」と当時のことを今でもよく覚えています。

また、「おまわりさんは走るのが速くて、犯人をつかまえるところがかっこいいです。ぼくたちが安全に暮らせるように登下校時に見守りをして

くれたり、交通安全教室にも来てくれたりしてとてもやさしいです。おまわりさんがぼくたちのまちにいてくれて、とても心強いです。」とおまわりさんが今でもあこがれであることを話してくれました。

将来の夢は「おまわりさんみたいにかっこいいプロサッカー選手」という羽琉さん。日本代表の久保建英選手の熱烈なファンで、プロサッカー選手を目指して、週3回、所属するチームで練習を頑張っています。

家では小学1年生と2歳のふたりの妹と仲良く遊んでいます。「やさしさはそのままに、もうちょっとわがママを言うてくれてもいいのに」とお母さんは目を細めます。「かわいい妹を守ってあげたい」と話す羽琉さんは、おまわりさんのように強くてかっこよくて、やさしいお兄さんです。

長門市市民憲章

③ 夢 かたりあう、
伸びゆくまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 260 2022年(令和4年)2月号

発行 長門市役所
〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2
TEL 0837-22-2111(代)

編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班
TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

瞬間を精一杯頑張ろうと思えた2022年最初の取材でした。

1月3日、今年最初の取材として令和4年成人式に行きました。新成人のキラキラと輝く笑顔がとても印象的で、一緒に来られていたご両親の幸せそうな表情を見てみると、自然と私も幸せな気持ちになっていました。▼現在、広報知っちょこを編集している私も5年前に成人式を迎えました。今の時点で、あの日思い描いていた理想の自分に近づいているとは言えませんが、長門市の職員として日々懸命に働いています。▼幸せな家庭を持ちたい、憧れの車に乗りたいなど叶えたい夢はまだまだあります。数年後の自分に胸を張っていられるよう、今この

編集後記

